

有志舎の新刊です。2014年3月下旬発売

帝国の思考

—日本「帝国」と台湾原住民—

松田京子 著

A5判・ハードカバー・280ページ 本体価格 4,800円

日本「帝国」最初の本格的な植民地である台湾。
そこでマイノリティであった台湾原住民をめぐる表象と学知から植民地主義の思考に迫る。

(目次)

序章	
第一章	戦争報道の中の台湾
第二章	台湾原住民教化政策としての「内地」観光
第三章	植民地主義と歴史の表象
第四章	「帝国臣民」の外縁と「帝国」の学知
第五章	台湾原住民の法的位置からみた原住民政策の展開
第六章	「五箇年計画理蕃事業」という暴力
第七章	人間の「展示」と植民地表象
第八章	一九三〇年代の台湾原住民をめぐる統治実践と表象戦略
第九章	台湾国立公園と台湾原住民
第十章	「原始芸術」言説と台湾原住民
終章	

<著者紹介> 南山大学人文学部教授、専攻：日本近代史・植民地期台湾研究

～版元から～

日本「帝国」が初めて本格的な植民地とした地域である台湾。その台湾における植民地支配に、近代の「学問」や「文化」はどのように関連していったのでしょうか。本書は、植民地台湾において人口数的にも社会的ポジションという観点からも、圧倒的なマイノリティであった台湾原住民をめぐる諸動向に焦点をあて、帝国の学知と思想が彼ら・彼女らをどのように表象し、それが植民地主義とどう接続していたのかを明らかにします。言説と統治の密接な関係を通して、日本「帝国」による植民地支配の思考に迫ります。

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-10、宝栄ビル 403 (有)有志舎 電話:03-3511-6085

番線印	ご注文	発行：有志舎	分野
	冊	帝国の思考 —日本「帝国」と台湾原住民— 松田京子 著	日本史・台湾史 (近代)
	ご担当	A5判・ハードカバー、280ページ 本体価格 4,800円	弊社はいつでも返品を受け付けていますが、逆送のご心配がある場合は、「永滝 了解」として返品下さい。
	様	新刊 ISBN978-4-903426-83-9 C3021	

ご注文は 有志舎 担当：永滝（ナガタキ）まで FAX：03-3511-8484

当社商品の取扱取次はトーハン・JRC・八木書店ですが、日販・大阪屋ほか、いずれの取次でも上記取次経由で送品します。なお、JRCからも同じ注文書が重複して送られた場合は、この弊社あての注文書だけをご返信下さい。